

2007

環境・社会報告書

Coca-Cola **West**
コカ・コーラウエストグループ



Contents

| | |
|-------------------------|----|
| 目次、編集方針 | 1 |
| 報告対象会社概要 | 2 |
| ごあいさつ | 3 |
| コカ・コーラウエストグループと社会とのかかわり | 5 |
| ●環境への取り組み | |
| 私たちの環境基本理念、私たちの行動指針 | 7 |
| 環境マネジメントシステム | 8 |
| 2006年の活動ハイライト | 9 |
| さわやか自然の森 | 11 |
| 苛性ソーダ溶液流出事故を受けた取り組み | 13 |
| 工場の回収水利用・排水管理 | 14 |
| 温室効果ガス削減計画 | 15 |
| 工場ゼロエミッション | 19 |
| 廃棄自動販売機リサイクル | 20 |
| 空容器リサイクル | 21 |
| 地域環境推進活動 | 23 |
| 環境データ・環境会計 | 27 |
| ●社会への取り組み | |
| コンプライアンス | 29 |
| 安全衛生 | 30 |
| 品質管理 | 31 |
| お客さま満足向上 | 32 |
| 地域との共生（社会貢献活動） | 33 |
| 地域との共生（自動販売機を通じた取り組み） | 35 |
| 社会からの評価 | 37 |
| 独立第三者の審査報告書、算定基準 | 38 |

編集方針

「環境・社会報告書2007」は、以下の方針に基づいて編集しています。
コカ・コーラウエストグループの2006年における環境に対する取り組み、ならびに社会への取り組みについて、具体的な企業活動に即して簡潔にわかりやすくご紹介しています。

対象期間


2006年1月1日～2006年12月31日

参考ガイドライン

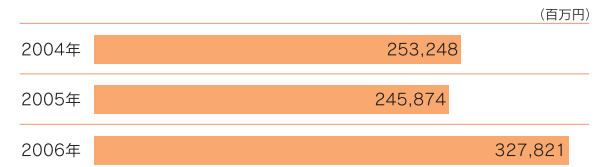
環境省「環境報告書ガイドライン（2003年度版）」

発行

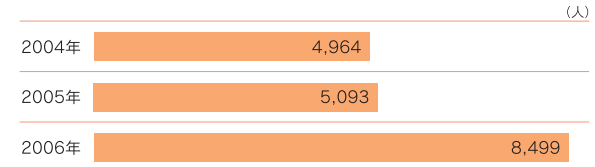
2007年3月（次回発行は2008年3月を予定しています）

 表紙のJ-AOEIマークは、当該環境・社会報告書に記載された環境情報の信頼性に関し、日本環境情報審査協会の定めた環境報告書審査・登録マーク付与基準を満たしていることを示すものです。

売上高(連結)



従業員数(連結)



売上高、従業員数はコカ・コーラウエストグループ25社を対象としています。

報告対象会社概要

Coca-Cola West

コカ・コーラウエストホールディングス株式会社



報告対象会社：23社

コカ・コーラウエストロジスティクス株式会社は、コカ・コーラウエストジャパンロジスティクス株式会社・関西ロジスティクス株式会社・三笠ロジスティクス株式会社が統合し、2007年1月に発足。
株式会社シーアンドシー、株式会社秋吉システムズは、本社のみデータ集計しています。

ごあいさつ

強い使命感を持ち、豊かな社会づくりへ貢献

私たちコカ・コーラウエストグループは、2006年7月1日に発足した共同持株会社「コカ・コーラウエストホールディングス株式会社」のもと、コカ・コーラウエストジャパン、近畿コカ・コーラボトリング、三笠コカ・コーラボトリングの3つのグループの一体化によって、より一層の企業価値向上を図ることとなりました。

新グループは、事業規模で日本最大のボトラーとなり、世界では売上高で4位、販売数量で11位と有数のボトラーになりました。会社規模および影響力の拡大に伴い、我々に期待されることはさらに大きく、かつ重要なものとなります。経営の最重要課題のひとつと認識して取り組んできた環境保全活動も、グループ全社員と会社とが一体となった取り組みによって、着実に継続的に推進していかねばならないと実感しています。

新たな環境基本理念・行動指針を策定

コカ・コーラウエストグループは、「飲料ビジネスの未来を創造します」を経営理念として掲げています。この「未来」という言葉には「価値」という意味を込めています。また、高い価値を提供し続けるステークホルダーの対象には、「お客さま」「社員」「株主」に加え「社会と環境」が含まれることを明らかにしています。

このたび、日々の環境保全活動における判断のよりどころとして、新グループとしての「環境基本理念・行動指針」を策定しました。日常業務の中で環境負荷削減を目標としたシステムを運用すること、「水の有効活用」「エネルギー使用の効率化」

「廃棄物の削減・リサイクル」の3つの要素が重要であること、地域社会に貢献し次世代に成果の残る活動を展開すること、などを織り込んでいます。

「さわやか自然の森」で森林保全

水を大量に使う企業として、水資源保全に取り組むことが社会的責任であると考え、水源涵養林の保全に積極的に取り組むことを決意しました。その第一弾として、佐賀県鳥栖市の約17ヘクタールの針葉樹・広葉樹が混在した森を「さわやか自然の森」と名付け、今後30年間、林野庁と共同でこの森を育てていきます。

新社員研修として枝打ちや林道づくりなどの林業体験、ステークホルダーや社員およびその家族を対象にした自然とのふれあい体験や、森林の保全活動を実施しています。「さわやか自然の森」は、今後中国地方や近畿地方へも展開します。

苛性ソーダ溶液流出事故の反省をふまえて

2005年9月、兵庫県明石工場において苛性ソーダ溶液流出事故により河川を汚染し、赤根川に生息していた魚に大きな影響を与えました。このことを深く反省し、その後、「赤根川清掃活動」「危機発生時のシミュレーショントレーニング」などを実施、自然との共生・地域との共生の重要性を再認識し、再発防止に努めています。

温室効果ガス削減計画を推進

現在はコカ・コーラウエストジャパンエリアと、近畿エリアのそれぞれの温室効果ガス削減計画の目標を維持し、目標達成に向け取り組んでいます。

コカ・コーラウエストジャパンエリアの2006年の温室効果ガス削減は、2000年比総量9%削減、原単位同35%削減となりました。2007年までに2000年比総量20%削減、原単位同45%削減する計画に対し、特に総量での削減努力をより強化してまいります。

また近畿エリアの2006年の温室効果ガス削減は、2000年比総量7%削減となりました。2010年までに2000年比総量10%削減する計画に対して、順調に推移しております。

2007年には、グループ全体での新たな温室効果ガス削減計画を策定することで基盤を整備し、グループ一体となった取り組みを推進していきます。

地域に愛される企業を目指して

地域社会への積極的な貢献としては、1999年から開始した環境保全活動に使用目的を限定して毎期積み立てている「地域環境対策積立金」を有効に活用し、「さわやか自然の森」や「学校ピオトープづくり支援」などに取り組んでいます。

また、環境保全に限定しない「地域社会貢献積立金」を活用した取り組みも、1993年より推進しています。

さらに、京都工場におけるファクトリーツアー、「びわ湖環境ビジネスメッセ」への毎期の出展取り組みなどにより、地域の

皆さまに私たちの取り組みをお伝えすべく努めています。

コカ・コーラウエストグループとして初めての環境・社会報告となる本報告書によって、私どもの活動をご理解いただくとともに、ぜひご意見をいただければ幸いです。

皆さまのご期待を受けとめ、今後の活動に活かしたいと願っています。



代表取締役、CEO

末吉紀雄

人と社会と自然との調和を目指して

コカ・コーラウエストグループと社会とのかかわり

コカ・コーラウエストグループは、生産、輸送、販売、回収・リサイクルとつながる事業活動を通じてさまざまな社会貢献活動や環境保全活動に取り組んでいます。

生産

温室効果ガス削減やゼロエミッション、水質保全への取り組みを行っています。



輸送

安全意識の向上のほか、エコカー導入など燃費向上への取り組みに努めています。



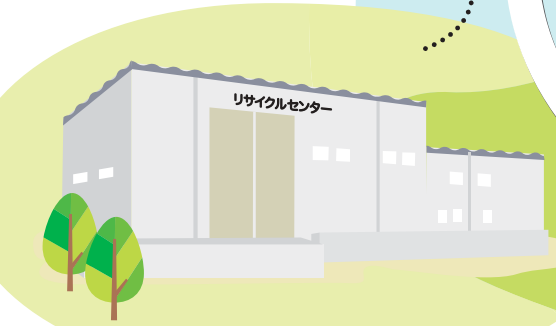
販売

環境配慮型自動販売機の導入や、定期的なメンテナンスで省エネに取り組んでいます。



リサイクル

回収した空容器をリサイクル施設で分別し、再資源化の原材料として活用しています。



回収

飲み終えた空容器を自主回収するほか、回収ボックス周辺の環境美化にも努めています。



●環境への取り組み

人も環境も、さわやかに。



私たちの環境基本理念

コカ・コーラウエストグループは、飲料ビジネスの未来を創造する企業として、地球環境保全を最重要課題のひとつと認識し、持続可能な社会の実現に貢献します。地域社会から信頼される企業として、社員一人ひとりと会社が一体となった取り組みにより、環境保全活動を継続的に推進します。

私たちの行動指針

1. 事業活動のさまざまな場面で環境に配慮し、環境リスクへの予防手段を優先します。
2. 日常業務の中で、環境負荷削減を目標とするシステムを運用し、その継続的な改善に努めます。
3. 水の有効活用、エネルギー使用の効率化、廃棄物の削減・リサイクルを推進します。
4. 適用される法規制、協定、必要に応じて設定する自主基準等を順守します。
5. 地域社会に貢献し、次世代に成果の残る活動を展開します。
6. 社員への環境教育を実施し、環境保全意識の向上に取り組みます。
7. ステークホルダーとのコミュニケーションを推進し、良き企業市民として行動します。

環境経営を支えるしくみ

コカ・コーラウエストグループでは、**地球温暖化対策・循環型社会の実現・地域環境推進活動**などを支えるしくみをグループ一体となって構築しています。

環境マネジメントシステム

コカ・コーラウエストグループ各社は、国際規格ISO14001とコカ・コーラ独自の環境マネジメントシステムであるeKO(イー・ケー・オー)システムのいずれか、もしくは双方を融合した環境経営を推進しています。

環境教育は、新社員や新任所属長、市場開発担当者向けに地球環境問題、環境マネジメントシステム、環境関連法規制に関する研修を実施しています。お得意さまの環境ニーズの高まりに対応するため、環境意識の向上に努めています。

なお、環境マネジメントシステムにおいて、環境規制を逸脱して大きな事故に直結するおそれのある管理上の問題は発見されていません。



環境マネジメントシステム 環境会計明細表

| 活動内容 | コスト(百万円) |
|-------------------------------|----------|
| 環境マネジメントシステム運営 環境コミュニケーション | 63 |
| 環境教育 | 27 |
| 大気汚染などの公害防止 | 30 |

環境表彰制度

CCWJエリアでは、環境への効果的な取り組みの推進と環境意識の向上を図るため「環境表彰制度」を導入しています。

事業所部門

グループ124拠点を対象に、業務に関連するエネルギー削減に貢献した事業所を表彰しています。2006年はコカ・コーラウエストジャパン山陰支社、米子支店、フードサービス山陰支店、米子業務センターが受賞しました。

個人部門

地球温暖化、リサイクルなど身近な環境問題をテーマとした環境ポスターを募集しています。1,580点の応募の中から優秀作品12点を選んで環境推進カレンダーを制作し、全事業所で掲示しています。



事業所部門受賞者(左)、個人部門受賞者(右)



環境大賞受賞作品

2006年の活動ハイライト



水資源リスク管理

さわやか自然の森

さわやか自然の森に立つ看板

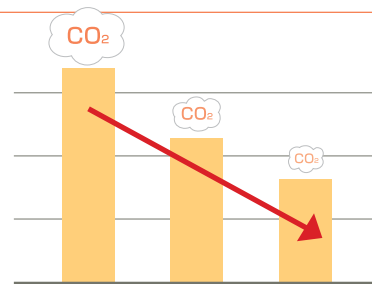
佐賀県鳥栖市の約17ヘクタールの森を「さわやか自然の森」と名付け、林野庁と共同で社員などの参加による森林保全活動をスタートしました。



地球温暖化対策

温室効果ガス削減計画推進

エネルギーの使い方に応じて4部門(生産、車両、自動販売機、オフィス)に分類し、社員の取り組みと会社の施策により推進しています。



循環型社会の実現

廃棄自動販売機の自社処理化

空容器の自社処理に加えて、廃棄自動販売機についても2007年に自社処理をスタートさせます。



地域環境推進活動

学校ビオトープづくり支援

学校ビオトープづくりの支援も2006年8校実施し、累計38校となり、今後は近畿・三笠エリアにも取り組みを拡大していきます。

2006年実施校

- 広島県/伊尾小学校 可部小学校
- 山口県/浅江小学校 伊佐小学校
- 福岡県/忠見小学校 長住小学校
- 佐賀県/浜崎小学校
- 長崎県/大串小学校

学校ビオトープ全景(山口県 浅江小学校)



水資源リスク管理

コカ・コーラウエストグループでは、清涼飲料メーカーとして、自然環境保護と水の保全活動などに積極的に取り組んでいます。

さわやか自然の森

コカ・コーラウエストグループは、水を大量に使う企業として、水資源保全に取り組むことが社会的責任と考え、水源涵養林の保全に積極的に取り組むこととしました。その第一弾として4月19日、佐賀県鳥栖市の約17ヘクタールの針葉樹・広葉樹が混在した森を「さわやか自然の森」と名付け、今後30年間、林野庁と共同でこの森を育てる契約を締結しました。6月には、新社員97名が研修プログラムの課題として、「さわやか自然の森」で針葉樹林の枝打ちと遊歩道造成を実施。研修を通じて自然の大切さ、素晴らしさを学びました。また、10月には社員およびその家族46名、11月にはお取引先などステークホルダーの皆さま46名をご招待して、針葉樹林の枝打ち、キノコ栽培、森林散策などを行いました。2007年には、「さわやか自然の森」を鳥取県などにも展開します。これからも、社員の環境教育を含め積極的に森林保全活動を推進し、水資源保全に役立てていきます。

「さわやか自然の森」調印



調印後の山口九州森林管理局長(左)と末吉代表取締役、CEO(右)



ステークホルダーによるキノコの植菌



新社員による遊歩道の造成



家族による枝打ち



参加者の声

企業人として地球環境保全に貢献します



伊藤忠商事株式会社
九州支社長
高久 克己様

日頃から、コカ・コーラウエストグループのリサイクル活動に協力させていただいています。今回は、グループ社員46名でキノコの植菌や森林散策などを行いました。参加者全員で自然環境の雄大さや素晴らしさを感じ、環境保全に向けた行動を日常の業務の中にも反映させていかなければならないと認識しました。

自然の素晴らしさと水の大切さを学びました



コカ・コーラウエストジャパン
長崎中央支店 営業課
澤本 将

みんなで力を合わせて作り上げた遊歩道を歩いた時、言葉にならない満足感、達成感を味わうことができました。豊かな自然あふれる「さわやか自然の森」から自然の素晴らしさ、尊さ、そしてその自然の恵みである「水」を取り扱う事業者としての自覚を学びました。

苛性ソーダ溶液流出事故を受けた取り組み

2005年9月、明石工場において、苛性ソーダ溶液が河川に流出する事故が発生しました。このような事故を二度と起こさないため、さまざまな取り組みを実施しています。

2006年4月には、明石工場と京都工場、製造現場における危機発生時のシミュレーショントレーニングを実施。明石工場事故での最大の反省点である関係機関への報告遅れがないよう、問題発生時には個人で問題を抱え込まないことなどを再確認しました。

続いて、5月には、近畿エリアのグループ社員約100名が参加し、明石工場から下流河口約2.7キロを対象に赤根川清掃活動を実施。また、9月には、明石工場の一部から薬液が漏洩したという想定で訓練を行い、参加者一人ひとりが瞬時に判断しながら対応しました。

事故を風化させることなく、継続的に訓練を実施し、再発防止に取り組んでいきます。



薬液漏洩想定訓練



危機発生時のシミュレーショントレーニング



(左) 赤根川清掃活動

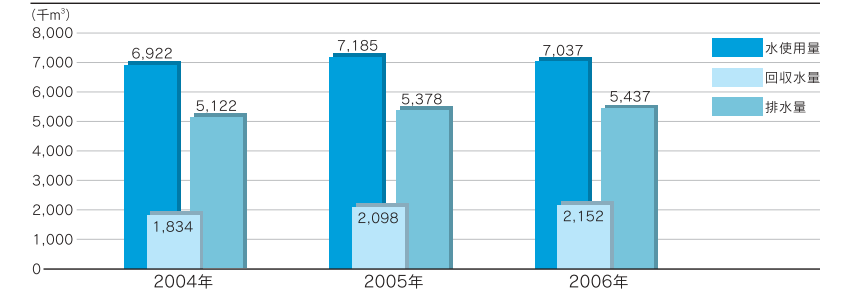
(右) 子どもたちと共に稚魚を放流

工場の回収水利用・排水管理

水を大切に繰り返し使用

容器の洗浄水や冷却水などに使用した水を回収し、温度調整などの処理後、再利用する水回収システムを導入しています。2006年は用水の約3分の1を回収し、水資源を節約しました。

水使用量と回収水量・排水量



水をきれいにして自然に返す

工場からの排水は、高濃度廃液など水質に応じた分別管理を行い、高性能排水処理による浄化排出によって、法規制より厳しい自主基準で管理を徹底しています。

水質測定結果

| 工場名 | 放流先 | 測定項目 | 規制値 (mg/l) | 実績値(最大値)(mg/l) |
|---------|------|------|------------|----------------|
| 本郷工場 | 一般河川 | COD | 50.4 | 19.9 |
| | | BOD | 29 | 9.1 |
| 鳥栖工場 | 下水道 | BOD | 40 | 4.3 |
| | | BOD | 600 | 433 |
| 基山工場 | 一般河川 | BOD | 30 | 10.2 |
| | | COD | 20 | 11.7 |
| 明石工場 | 一般河川 | BOD | 20 | 12.0 |
| | | COD | 25 | 5.9 |
| 京都工場 | 一般河川 | BOD | 25 | 6.1 |
| | | BOD | 600 | 280 |
| 滋賀工場 | 一般河川 | COD | 20 | 18.0 |
| | | BOD | 20 | 18.8 |
| 大山プロダクツ | 一般河川 | COD | 160 | 27.5 |
| | | BOD | 160 | 3.4 |

※COD: 化学的酸素要求量 / BOD: 生物化学的酸素要求量 ※規制値は、放流先によって異なります。



水資源リスク管理 環境会計明細表

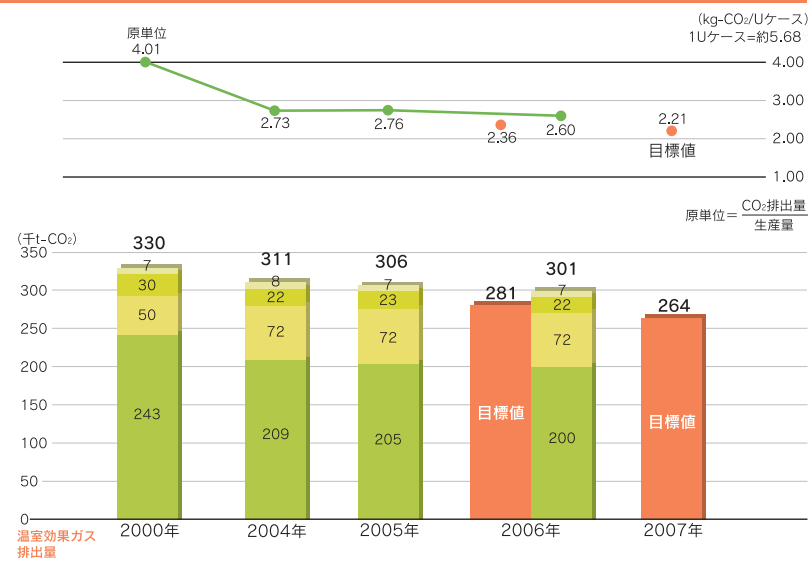
| 活動内容 | コスト (百万円) | 経済効果 (百万円) |
|-------|-----------|------------|
| 回収水利用 | 98 | 102 |
| 排水処理 | 685 | — |

地球温暖化対策

環境問題の重要課題である地球温暖化対策を身近なものとしてとらえ、「温室効果ガス削減計画」を推進しています。

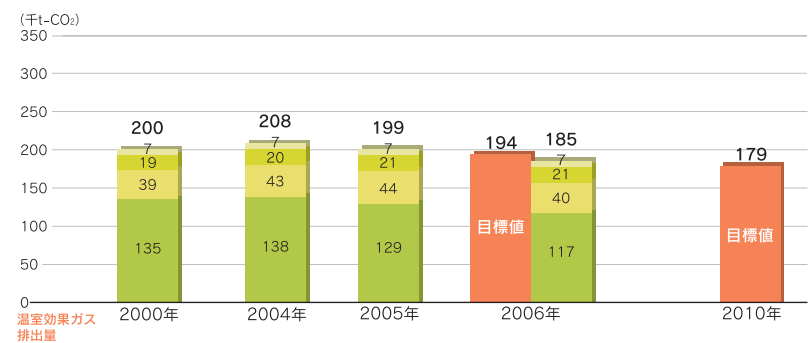
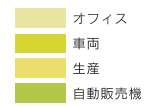
CCWJエリア 温室効果ガス削減計画

CCWJエリアの温室効果ガス削減は、2000年比総量9%削減の30万1千トン、原単位同35%削減の2.60となりました。2007年までに2000年比総量20%削減、原単位同45%削減する計画に対し、特に総量での削減努力をより強化していきます。



近畿エリア 温室効果ガス削減計画

近畿エリアの温室効果ガス削減は、2000年比総量7%削減の18万5千トンとなりました。2010年までに2000年比総量10%削減する計画に対して、順調に推移しています。



生産 取り組み状況

基山工場 完全天然ガス化へ

2005年鳥栖工場に続き、基山工場にて4月、ボイラー燃料のA重油から天然ガスへの転換を開始しました。天然ガス化は、SOxを発生せずCO₂排出量も大幅に削減するため、環境負荷削減に貢献するものです。

このほか生産効率アップなど、温室効果ガス削減に努めたことにより、CCWJエリアでは前年比1%減、近畿エリアでは前年比7%減となりました。

今後も、早期に他工場でも燃料転換を含む省エネ施策を積極的に行い、「環境に配慮した工場」づくりを推進していきます。



天然ガス供給システム

オフィス 取り組み状況

全員参加で省エネ

環境省が提唱するクールビズとウォームビズに賛同し、空調の設定温度を夏季28℃、冬季20℃に設定。ポスターなどを活用した啓発によりこまめな消灯や温度管理への意識向上に努めましたが、CCWJエリアでは前年比2%増、近畿エリアでも前年比1%増となりました。

温室効果ガス排出量6%削減を実現するための国民的プロジェクト「チーム・マイナス6%」にも参加しており、日常業務の中での環境負荷低減を、より一層積極的に推進していきます。



社内の啓発ポスター



導入したディーゼルハイブリッド車

車両 取り組み状況

燃費向上と安全意識を促進

エコドライブや燃費向上に役立つデジタルタコメーターを、大型車両41台に搭載しています。また支店の配送車両120台に「セーフティチャレンジャー」を搭載。これは運転状況をリアルタイムにチェックし、アイドリングや急加速の際に音声で注意を促すもので、事故削減にも効果があります。

このような取り組みによってエコドライブをさらに推進したことから、コカ・コーラウエストジャパンロジスティクスでは自社所有車両の燃費が前年比4%アップしています。

このほか、2006年、コカ・コーラウエストグループ全体で天然ガス車30台、ハイブリッド車21台を新たに導入したことにより、車両運行に伴うCO₂排出量は、CCWJエリアでは前年比4%減、近畿エリアでも前年比1%減となりました。



デジタルタコメーター



走行データ解析による運転チェック

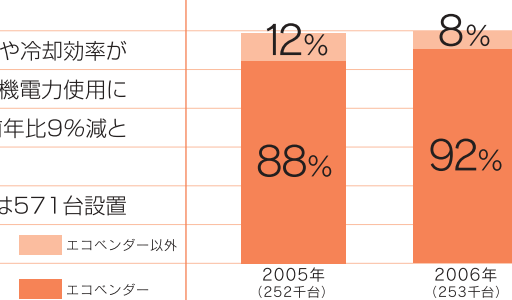
自動販売機 取り組み状況

エコベンダー拡充で消費電力削減

夏場の電力消費ピーク時に電気の使用をカットする「ピークカット機能」や冷却効率が大きく向上したエコベンダーを積極的に導入したことにより、自動販売機電力使用に伴うCO₂排出量は、CCWJエリアでは前年比2%減、近畿エリアでは前年比9%減となりました。

地球にやさしいノンフロン方式への切り替えも進めており、2006年には571台設置しました。

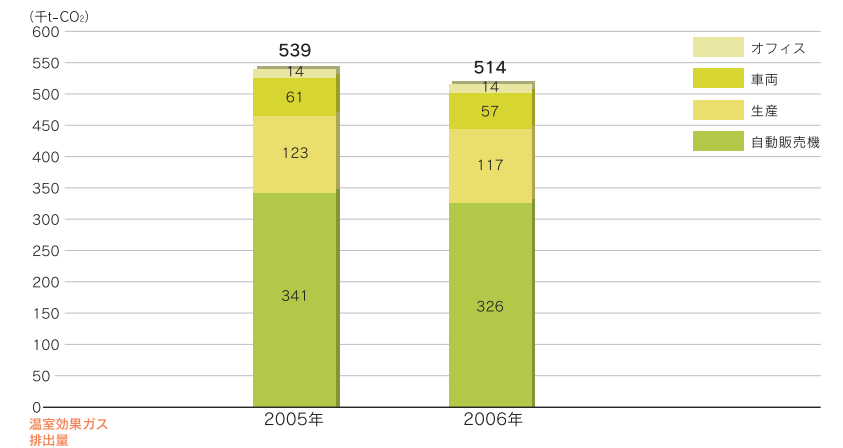
全体に占めるエコベンダーの割合



エコベンダー以外
エコベンダー

コカ・コーラウエストグループ 温室効果ガス排出量

コカ・コーラウエストグループ全体の2006年温室効果ガス排出量は、前年比5%減の51万4千トンとなりました。2007年には、グループ全体で一体となって取り組む温室効果ガス削減計画を策定します。



温室効果ガス排出量



地球温暖化対策 環境会計明細表

| 活動内容 | コスト (百万円) | 経済効果 (百万円) | CO ₂ 削減効果 (千t-CO ₂) |
|------------------------------|-----------|------------|--|
| コージェネレーションシステム導入 天然ガス燃料転換 | 64 | 141 | 8 |
| エネルギー監視システム | 28 | - | |
| 省エネルギー型照明 | 8 | 4 | |
| エコカー導入 | 13 | 4 | |
| その他の活動 | 12 | 9 | |

循環型社会の実現

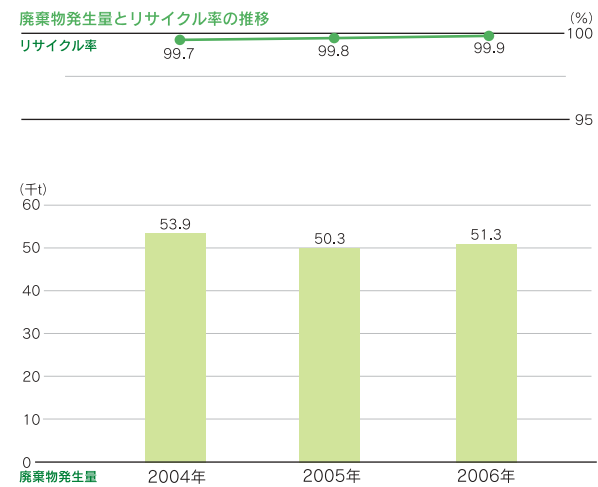
コカ・コーラウエストグループでは、限りある資源の有効活用を推進していくため、廃棄物削減、空容器リサイクルなどさまざまな取り組みを行っています。

工場ゼロエミッション

工場では毎日たくさんの廃棄物が発生します。グループでは、ゼロエミッション(全廃棄物のリサイクル率99%以上)を目標にそれら廃棄物のリサイクルに取り組んでいます。リサイクルされた廃棄物はさまざまな用途で活用されています。

| 種類 | 発生量 | リサイクル率 | 再生利用用途 |
|---------------|----------|--------|----------------|
| コーヒーかす 茶かす | 43,239 t | 100% | 有機肥料 |
| 汚泥 | 4,620 t | 100% | |
| 金属類 | 407 t | 100% | 再生鋼材 アルミ缶 |
| ガラス類 | 260 t | 100% | 再生カレット |
| 廃プラスチック類 | 853 t | 98.9% | 再生プラスチック 燃料 |
| 紙類 | 1,264 t | 99.7% | 段ボール 再生紙 |
| その他 | 664 t | 93.4% | 路盤材など |
| 合計 | 51,307 t | 99.9% | |

リサイクル率 **99.9%** ゼロエミッション達成



コーヒーかす・茶かすを土壌改良剤へ

基山工場では、コーヒーかすや茶かすを活用した土壌改良剤を工場見学者に配布しています。



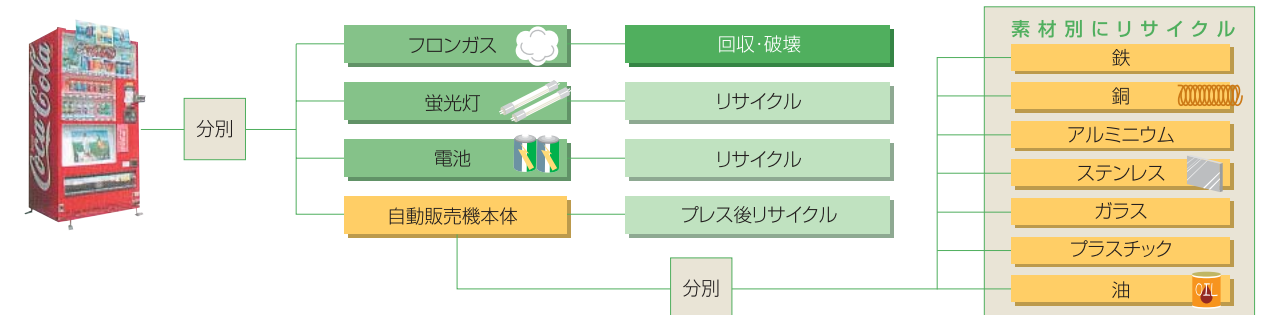
廃棄自動販売機リサイクル

廃棄する自動販売機は、事前選別によりフロンガス、蛍光灯、電池などを回収した後、自動販売機本体を鉄スクラップにして製鉄メーカーでリサイクルしています。(フロンガスは破壊処理) 2007年からは、グループを含む西日本エリアでの廃棄自動販売機リサイクルを開始いたします。(詳細は裏表紙をご覧ください)

廃棄台数とフロンガス回収量

| | 2005年 | 2006年 |
|--------------|--------|--------|
| 廃棄台数(台) | 33,935 | 31,455 |
| フロンガス回収量(kg) | 7,676 | 6,698 |

廃棄自動販売機のリサイクルの流れ



廃棄物管理 環境会計明細表

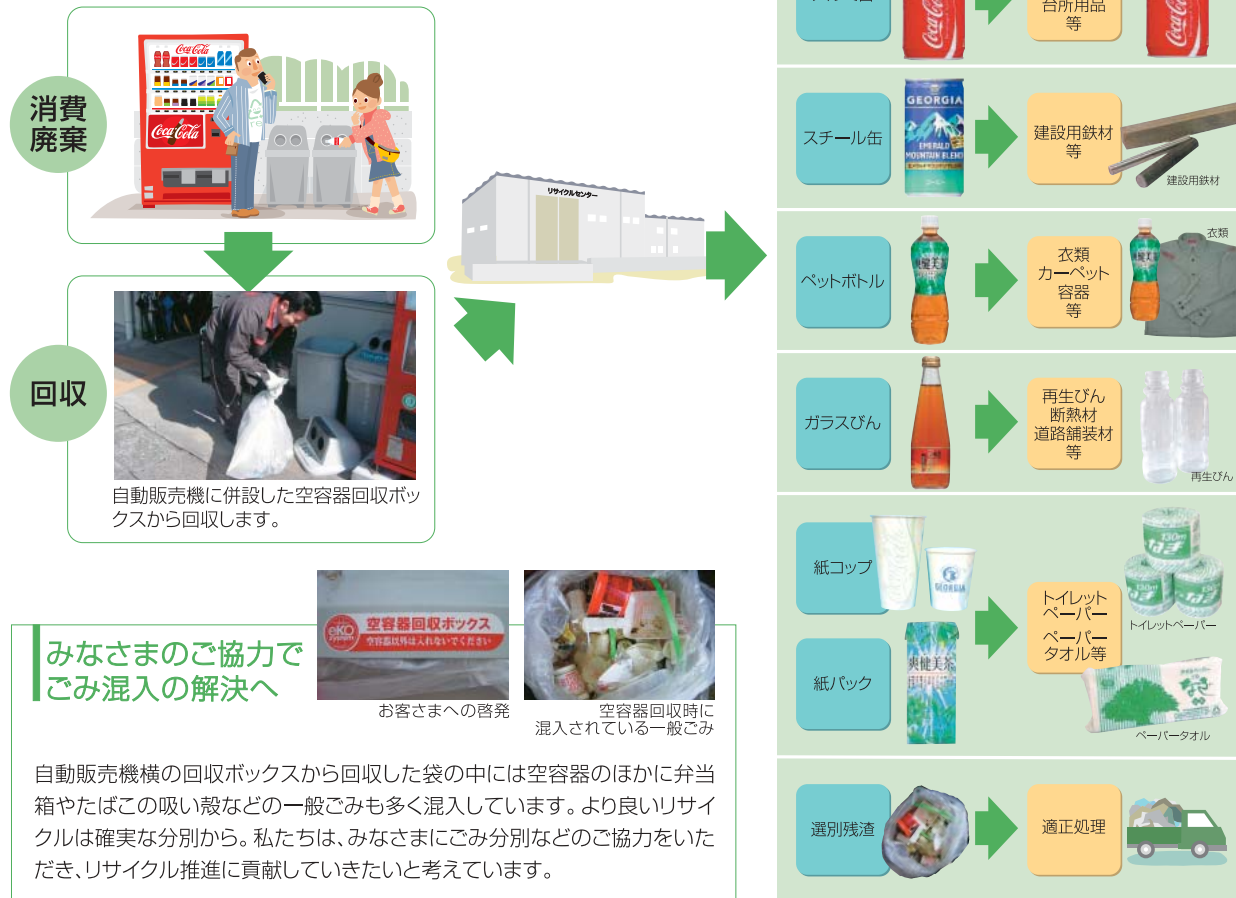
| 活動内容 | コスト(百万円) | 経済効果(百万円) |
|--------------------|----------|-----------|
| 工場廃棄物処理 | 434 | 38 |
| 廃棄自動販売機処理(フロン処理含む) | 115 | 79 |

空容器リサイクル

コカ・コーラウエストグループでは、清涼飲料メーカーの責務として自主回収した空容器の再資源化を促進しています。

空容器リサイクルの流れ

自主回収した空容器はすべて再資源化されます。

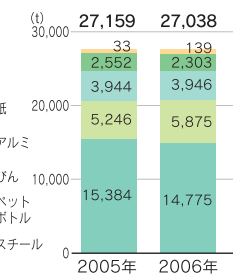


みなさまのご協力でごみ混入の解決へ

自動販売機横の回収ボックスから回収した袋の中には空容器のほかにも弁当箱やたばこの吸い殻などの一般ごみも多く混入しています。より良いリサイクルは確実な分別から。私たちは、みなさまにごみ分別などのご協力をいただき、リサイクル推進に貢献していきたいと考えています。

グループ再資源化実績

コカ・コーラウエストグループ全体の2006年再資源化量は、前年比微減の2万7千トンとなりました。今後は紙カップリサイクル量なども増やし、ごみ分別などみなさまにご協力をいただきながら、空容器リサイクルをより一層推進します。



空容器回収袋をリサイクル

空容器の回収袋が選別残渣の中で無視できない量を占めることに着目。リサイクル処理業者に空容器回収袋を廃プラスチックとしてリサイクルする設備導入を提案し、2006年末に近畿エリアで稼働開始しました。



飲料メーカーで処理最大

北九州さわやかリサイクルセンター

CCWJエリアの北九州さわやかリサイクルセンターは、年間1万トンの再資源化処理能力を有しており、処理量では飲料メーカーにおいて最も大規模なリサイクルセンターです。



選別作業



プレスされた空容器






空容器リサイクル環境会計明細表

| 活動内容 | コスト(百万円) | 経済効果(百万円) |
|-------------------|----------|-----------|
| リサイクルセンター運営 | 343 | 225 |
| 空容器回収委託・フレッシュネス管理 | 1,182 | 29 |

地域環境推進活動

コカ・コーラウエストグループでは、子どもたちへの環境教育支援のほか、環境美化、緑化などさまざまな地域環境推進活動に取り組んでいます。

| | |
|---|---|
| <p>自然の大切さを伝える 学校ビオトープづくり支援</p> |  |
| <p>自然環境の素晴らしさや大切さを学ぶことを目的とした環境教育支援。子どもたちが自分で考えた設計図をもとに、先生や保護者や地域の人たちと一緒に生き物が生息できる場所(ビオトープ)づくりを半年かけて手作りで完成させます。</p> | <p>力を合わせてビオトープを造成(福岡県 忠見小)</p> |
| <p>体験しながら環境を学ぶ コカ・コーラエコサイエンス</p> |  |
| <p>子どもたちの環境意識高揚を目的とする「コカ・コーラエコサイエンス」を2006年は福岡市および松江市で開催。約100名の児童が参加して、「水」にスポットを当て、水中生物の観察、沢登りなど、夏休みを利用して1泊2日の体験学習を行いました。</p> | <p>水中生物の観察(島根県 宍道湖)</p> |
| <p>子どもたちが苗木を育てる 学校植林支援</p> |  |
| <p>「どんぐりの森をつくろう」をキャッチフレーズに、子どもたちに苗木の里親になってもらい、自らが学ぶ自然環境教育活動。自分たちの手で苗木を生長させ、山に植樹する活動です。2006年は、岡山県、広島県、福岡県の小学生約1,000名が実施しました。</p> | <p>植樹する子どもたち</p> |



地域環境対策積立金

コカ・コーラウエストグループでは1999年より毎年、地域環境を積極的に保全するため、利益処分時に「地域環境対策積立金」として1億円を計上しています。積立金は、本

ページ掲載の「学校ビオトープづくり支援」「コカ・コーラエコサイエンス」「学校植林支援」や、11ページ掲載の「さわやか自然の森」における資金などに使用されています。

郷土を愛する心を育む **赤とんぼの街づくり運動**

子どもたちに自分が住む街の絵を描いてもらうことで、街の良さを知り、好きになってもらい、景観の保全に役立てていこうという活動です。2006年は倉敷市、長崎市で開催し、約1,000名の小学生が参加しました。



写生の様子

教育現場での環境教育 **学校エコ訪問**

学校を訪問して、将来を担う子どもたちに空容器がリサイクルされるまでの流れを知ってもらうとともに、ごみ問題の現状や3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進、そのために私たちができることを考える出張型の環境教育を行っています。



社員から説明を受ける子どもたち

地域美化活動

地域社会への感謝の気持ちとして

コカ・コーラウエストグループでは月1回、事業所周辺の道路・公共場所の清掃活動を実施しています。また、行政と一体となって地域で開催される清掃活動にも積極的に参加し、地域社会と歩む企業として感謝の気持ちを込め、清掃活動を通じた社会貢献を行っています。



地域の美化活動



事業所周辺の清掃活動

●お客さまとのふれあい
工場見学



京都工場

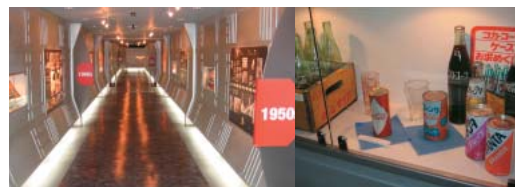
地域の学習の場、楽しみを創造し、お客さまとのダイレクトコミュニケーションを実現しようと、2005年1月より京都工場マジカルエコラのファクトリーツアーを開始しています。家族連れをはじめ学校の社会見学、企業・福祉団体の勉強会などに幅広く活用されています。2006年は約3万7千名のお客さまにご来場いただきました。鳥栖工場などでも工場見学を積極的に受け入れています。



製造工程を見学する小学生たち



エコラ
近畿コカ・コーラボトリング
京都工場見学のバーチャルガイド



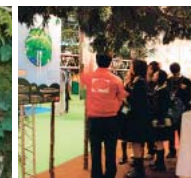
コカ・コーラの歴史や製品の変遷が学べるスタディーゾーン

●環境イベントに出展
びわ湖環境ビジネスメッセ

10月25日から3日間長浜市で開催された第9回「びわ湖環境ビジネスメッセ」に出展しました。今回で6回目の展示となり、コカ・コーラの環境への取り組みや自動販売機の展示に加え、檜と杉の間伐材を使った「コカ・コーラの森」を設営し、水源涵養林の重要性を来場された皆さまと共有しました。



会場に再現されたコカ・コーラの森



説明を受ける来場者



コカ・コーラの環境への取り組みを伝えるブース

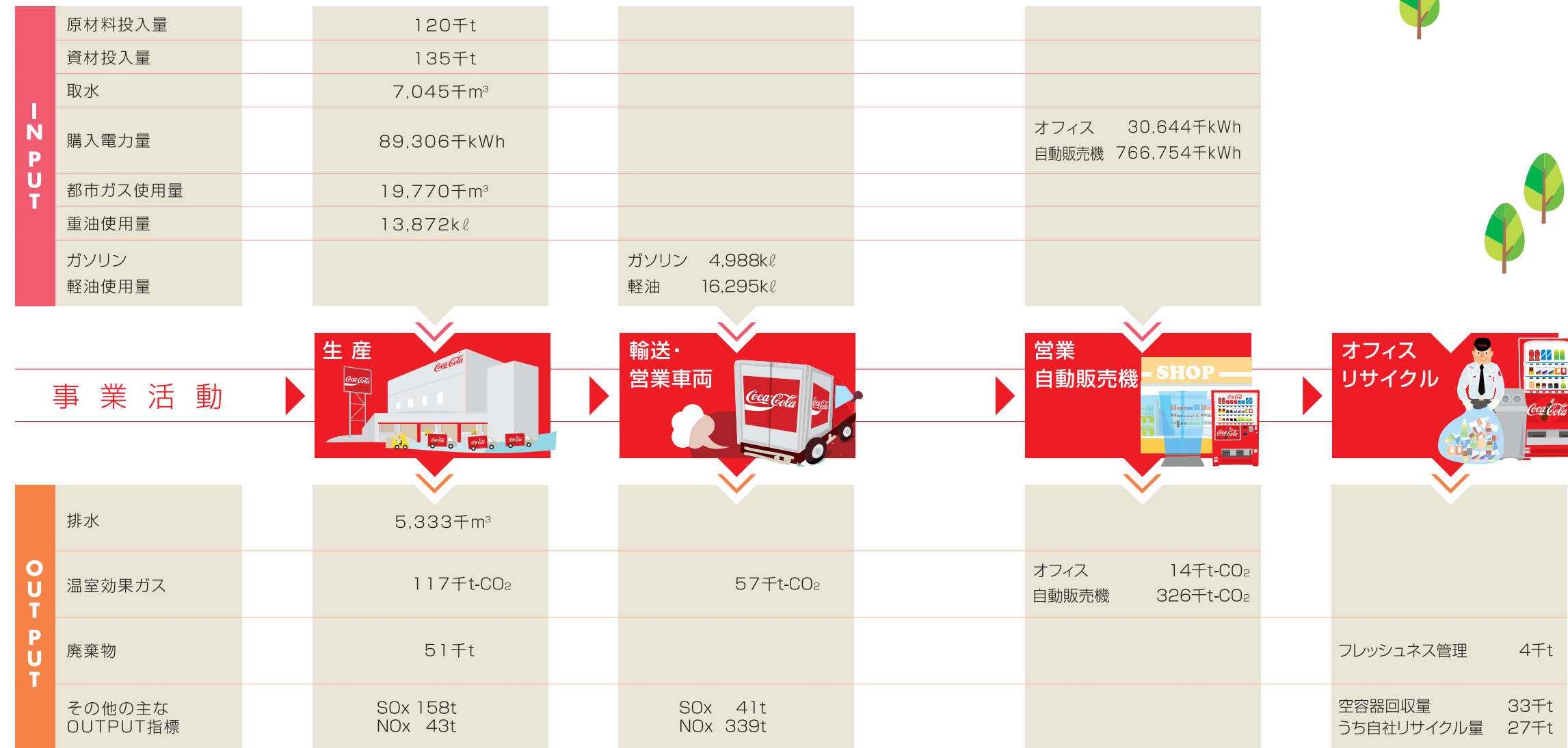


地域貢献
環境会計明細表

| 活動内容 | コスト(百万円) |
|---|----------|
| 地域環境対策積立金を活用した活動 (学校ビオトープ、さわやか自然の森 他) | 54 |
| さまざまな地域貢献・協賛 (赤とんぼの街づくり、コカ・コーラエコサイエンス 他) | 21 |
| 美化活動 | 79 |

環境データ・環境会計

生産からリサイクルまでの事業活動において、
さまざまな環境への影響を把握し、管理に役立てています。



環境会計

| 活動区分 | 経済効果を差し引いたコスト(百万円) | 明細表参照ページ |
|-------------------|--------------------|----------|
| 水資源リスク管理 | 681 | P14 |
| 地球温暖化対策 | △33 | P18 |
| 廃棄物管理 | 432 | P20 |
| 空容器リサイクル | 1,272 | P22 |
| 地域貢献 | 154 | P26 |
| 環境マネジメントシステム 公害防止 | 119 | P8 |
| 合計 | 2,625 | |

●社会への取り組み

当たり前前のごことを当たり前前



コンプライアンス

コカ・コーラウエストグループは、すべてのステークホルダーから信頼される企業を目指し、グループをあげてコンプライアンスの確立に努めています。

コンプライアンスの確立に向けて

経営理念を実現するために社員としての行動の基本を示すものが「コカ・コーラウエストグループ行動規範」です。この行動規範をコンプライアンス活動の中核と位置づけ、すべてのステークホルダーから信頼される企業を目指し、コンプライアンス確立のためのさまざまな取り組みを積極的に実施しています。



■行動規範概念図

| コカ・コーラウエストグループ行動規範 | |
|-------------------------------|--|
| | 私たちは、すべての法令を遵守するとともに、社会的良識をもって誠実に行動し、すべてのステークホルダーからの信頼を得ることで、経営理念を実現します。 |
| お客さまに対して | 私たちは、常にお客さまの立場に立って行動し、お客さまのご満足を追求します。 |
| お得意さまに対して | 私たちは、お得意さまをお客さまのご満足を実現するためのパートナーとして大切に、お互いの繁栄を目指します。 |
| お取引先に対して | 私たちは、お取引先との公正で対等な取引を通じ、お互いの共存をはかります。 |
| 社員に対して (会社と社員・社員間) | 私たちは、職場のすべての人たちがいきいきと働くことができるようお互いの考え方や立場を尊重します。 |
| 株主に対して | 私たちは、健全かつ透明性のある経営に努め、企業価値を高めます。 |
| 社会に対して | 私たちは、企業市民としての社会的な責任を果たし、より豊かな社会の実現に貢献します。 |

安全衛生

コカ・コーラウエストグループでは、社員の快適な職場環境を築くために、健康管理や交通安全に対する取り組みを重視しています。

予防重視の取り組み

グループ社員がやりがいを持ち、一体となって活動できる会社であるために、社員の健康と安全が不可欠です。安全衛生活動を「なぜ、何のために」するのか、目的を全社員が理解することが重要です。2006年の健康と安全に関する取り組みは、対策よりも「予防」に注力しました。

| 2006年安全衛生活動の概要 | | |
|--|---|----------------------------------|
| 交通安全 | 労働安全 | 健康管理 |
| ①エコドライブの推進 ②セーフティチャレンジャーの展開 ③安全運転研修の実施 | ①月1回の職場チェック「1:29:300」の法則 ②重量物運搬者の安全推進 ③リフト安全運転の推進 | ①日常の健康管理 ②定期健康診断・二次検診、人間ドック受診 |
| 安全衛生情報の開示「見える化」 | | |
| 無事故キャンペーン実施 | | |
| その他の安全衛生活動 | | |

活動状況

交通安全
営業活動で使用する車両の「きれい化」を基本としたエコドライブを推進し、グループ社員の「車両にやさしい運転」、「環境にやさしい運転」の意識が定着してきています。また、KYT(危険予知トレーニング)や再発防止を内容とする安全運転研修を定期的実施しています。

労働安全
事業所内の危険箇所や問題点を洗い出す職場安全パトロールを実施し、危険箇所の明確化、改善、排除を実施しています。さらに、事故による人体への被害を抑制するために、セールスマンや倉庫作業者にユニフォームの一部として、安全靴の支給を行っています。

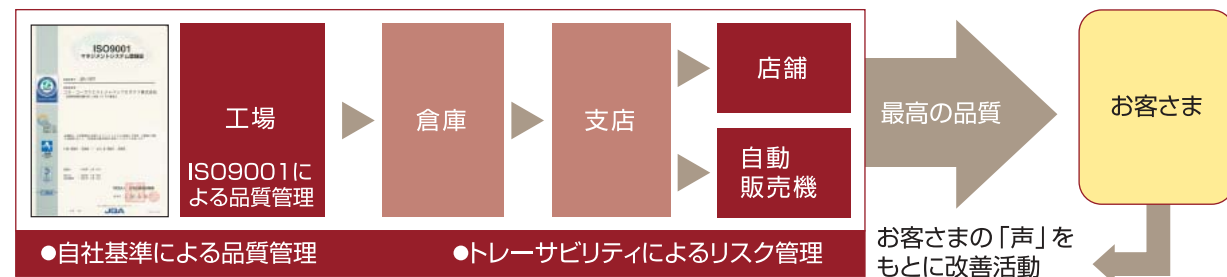
健康管理
グループ社員の健康管理として、体操の徹底や産業医、保健師によるメンタルヘルスケア相談の受付・対応を行っています。また、定期健康診断や人間ドックを実施しています。

品質管理

「いつでも、どこでも、誰にでも、高品質で安心して飲んでいただける商品」をお届けできるよう、こだわりと情熱を持って積極的に取り組んでいます。

最高品質への取り組み

工場からお客さまに商品をお届けするためのすべての過程で、最高の品質を維持するためにさまざまな活動を展開しています。



工場
ISO9001認証取得し徹底した高品質を追求

品質保証の国際規格であるISO9001の認証をいち早く取得し、厳格な品質管理のもとで製造しています。

品質基準
厳しい自社基準設定し鮮度管理に取り組む

工場・倉庫・支店・店舗・自動販売機に至るすべての過程において、法律を遵守するのはもちろん、独自の厳しい品質基準を定め、高品質のものだけをお客さまにお届けするよう、社員一人ひとりが責任を持って活動しています。特に「お客さまにフレッシュな商品を安心してお飲みいただく」ことにこだわって、鮮度管理に取り組んでいます。

管理体制
危機管理と追跡管理も徹底

信頼される企業であり続けるために、万一のリスクに備えた管理体制も重要な要素の一つ。リスクマネジメント(危機管理)、トレーサビリティ(追跡管理)の強化を図り、リスク発生時に迅速な対応ができる体制を整えています。

改善活動
お客さまの「声」をもとに改善

お客さまからいただく「声」をフィードバックし、品質向上の原動力へ。いただいた「声」から私たちの日々の活動を見直し、絶えず新しい改善に取り組んでいます。

お客さま満足向上

コカ・コーラウエストグループは、お客さまの声を反映させ、より高い満足を得ていただけるよう取り組んでいます。

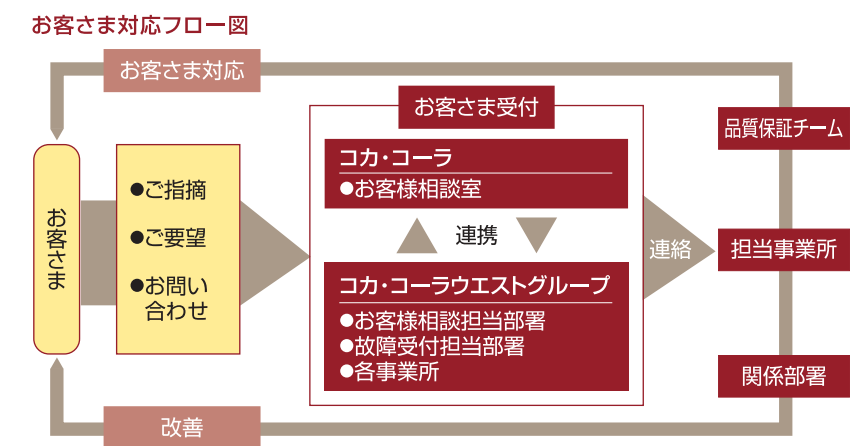
JISQ10002「苦情対応マネジメントシステム」自己適合宣言

2006年7月、近畿コカ・コーラボトリングはJISQ10002:2005 (ISO 10002:2004)「苦情対応マネジメントシステム」の規格に適合し、日本コカ・コーラに続いて、ボトラー社として初めて、自社ホームページ上で自己適合宣言しました。さらに、コカ・コーラウエストジャパン、三笠コカ・コーラボトリングにおいても自己適合宣言を実施する予定です。

JISQ10002
苦情対応マネジメントシステムの国際規格であるISO10002の完全翻訳版。このマネジメントシステムのPDCAサイクルを回すことによってお客さま満足と企業価値の向上を目指します。

お客さま窓口の取り組み

あらゆるお客さまからのご指摘やご要望、お問い合わせに対し、グループ全体で迅速かつ確実に対応できる体制を構築しています。単にお客さまの声にお応えするのではなく、コミュニケーションの最良の機会として積極的な対応を心がけています。






滋賀・明石工場の製品回収について


2006年5月、お客さまから製品の中に黒い粒状のものが混入しているのご指摘を受け、調査の結果、滋賀工場における製造ラインの一部不具合により、一部製品に鉄の微粉末が微量に混入したことが判明しました。飲用されても健康に影響はないものの、万全を期して約237万本の回収を実施しました。

2007年1月、お客さまから製品の中に異物が混入しているのご指摘を受け、調査の結果、明石工場における製造ラインの一部不具合により、一部製品にパッキンの破片が微量に混入したことが判明しました。飲用されても健康に影響はないものの、万全を期して約13万本の回収を実施しました。

地域との共生（社会貢献活動）



コカ・コーラウエストグループでは、「スポーツ活動支援」「文化・教育活動支援」「社会福祉支援」「地域イベント支援」の4つの活動を柱に、青少年の健全育成の支援や地域とのより密接なコミュニケーションを進めています。

| | |
|---|---|
| <p>●スポーツ活動支援【子どもたちの健全育成を願う】</p> <h3>小学校への一輪車贈呈</h3> <p>子どもたちのバランス感覚を養い、積極的に興味を持って取り組める教材として、2006年はCCWJエリア内の小学校80校に一輪車を贈呈しました。子どもたちは、上達への意欲を見せると共に友達と助け合いながら乗りこなしています。これまでに小学校1,605校に、16,050台を贈呈しています。</p> |  <p>一輪車を手に喜ぶ子どもたち</p> |
| <p>●スポーツ活動支援【ラグビーを通じ青少年育成】</p> <h3>さわやかラグビークリニック</h3> <p>CCWJエリア内の小・中・高校生を対象に、ラグビー部員が講師としてラグビーの基本技術を指導しています。2006年は福岡県と山口県で開催し、2会場で340名が参加しました。参加者たちは、憧れの選手や監督に的確なアドバイスを受けるなど交流を深めていました。</p> |  <p>憧れの選手からの指導</p> |
| <p>●文化・教育活動支援【本格的なクラシックで魅了】</p> <h3>さわやかクラシックコンサート</h3> <p>地域の皆さまをご招待し、世界トップクラス奏者による質の高い本格的なクラシック音楽を楽しんでいただいております。2006年は6地域で開催し、クラシックの持つさわやかな音色で来場者を魅了し、思い出に残るひとときを満足していただきました。</p> |  <p>世界トップクラスの演奏を堪能</p> |



地域社会貢献積立金

コカ・コーラウエストグループでは1993年より毎年、地域への社会貢献を積極的に推進するため、利益処分時に「地域社会貢献積立金」として2億円を計上しています。積立金は、本ページ掲載の「小学校への一輪車贈呈」「さわやかラグビークリニック」「さわやかクラシックコンサート」などにおける資金に使用されています。

| | |
|---|--|
| <p>●文化・教育活動支援【文化イベントを通じ心を育む】</p> <h3>ファミリーミュージカル</h3> <p>毎年夏休みに開催している子どもと保護者を対象としたミュージカル。子どもたちがよく知る演目が多く、舞台と一体となって大合唱するシーンが見られるなど、大いに盛り上がりました。また公演後に、出演者と一緒に記念写真を撮影できるなど最後まで楽しませる工夫が好評です。</p> |  <p>飛び入り参加で歌う子どもたち</p> |
| <p>●社会福祉支援【社会への自立をサポート】</p> <h3>特別支援学校へ教材贈呈</h3> <p>特別支援学校を対象とした子どもたちの社会自立の一助として、CCWJエリア内の特別支援学校10校に教材としてパソコンなどを寄贈しています。学習教材の提供を通じた社会福祉支援活動で、2006年までに130校に贈呈しました。</p> |  <p>活用されている寄贈教材</p> |

企業スポーツ活動を強化

レッドスパークス後援会発足

コカ・コーラウエストグループにおいて、コカ・コーラウエストレッドスパークス（ラグビー部、ホッケー部）を強力に支援していく後援会が発足しました。ラグビー、ホッケーを通じて、「スポーツの感動とさわやかさ」を共有し、アマチュアスポーツの発展を支援することが目的です。賛助いただいた年会費の一部が、ラグビー部およびホッケー部の「強化費」として役立ちます。

詳しくは下記Webサイトをご覧ください
<http://www.ccwh.co.jp/club/kouenkai/>



ホッケー部

ラグビー部

地域との共生（自動販売機を通じた取り組み）

コカ・コーラウエストグループでは、自動販売機を通じて地域社会の発展に貢献しています。

地域活動のサポート 支援自動販売機

支援自動販売機は、自動販売機の売上の一部を地域の社会貢献事業やイベント、スポーツ団体の活動資金として還元し、お客さまとともに地域活動を支援していくシステムです。CCWJエリアから始まり、現在はコカ・コーラの全ボトラーで

展開されています。2006年には福岡県田川市のまちづくり支援や、兵庫県豊岡市のコウノトリ野生復帰支援などを目的とした支援自動販売機を513台導入し、これまでに累計923台が活用されています。

支援自動販売機による地域支援活動のしくみ



地域の防犯に協力

こども110番 青少年を守る車

近年、全国的に子どもが巻き込まれる事件が多発しています。それを受け、コカ・コーラの車両の認知度が高いという利点を活かし、「こども110番 青少年を守る車」に参加。今後も地域の安全・安心を守る企業として、子どもたちが健全に育つことのできる環境づくりに貢献していきます。



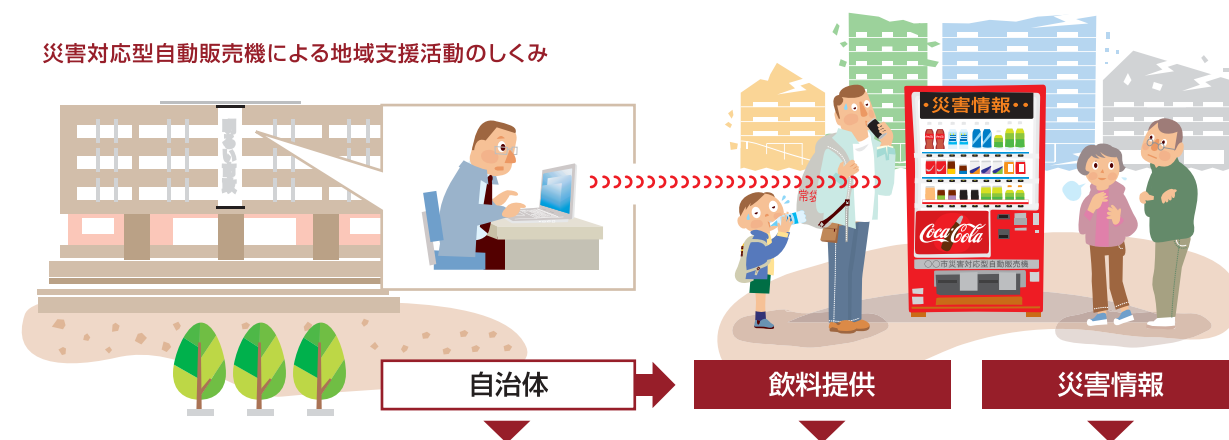
災害時に飲料を無償提供 災害対応型自動販売機

災害対応型自動販売機は、大地震などでライフラインが被害を受けた場合、役所など遠隔地からのパソコン操作により清涼飲料水を無償で住民に提供できるシステムです。電光掲示板機能も搭載し、災害時の避難場所、地図情報をリアルタイムに確認できます。2006年までに累計190台を設置しました。

設置された災害対応型自動販売機 (岡山県備前市)



災害対応型自動販売機による地域支援活動のしくみ



災害対応型自動販売機の特徴



パケット通信ネットワークを使い、LEDメッセージボードへのメッセージの配信ならびにフリードリンク（無償提供）の操作が可能です。

フリードリンク（無償提供）
遠隔操作による「無償提供」の開始。

LEDメッセージボード
通常時は地域情報やフラッシュニュースなどの情報を提供。緊急時には「災害情報」などのメッセージをリアルタイムに表示。

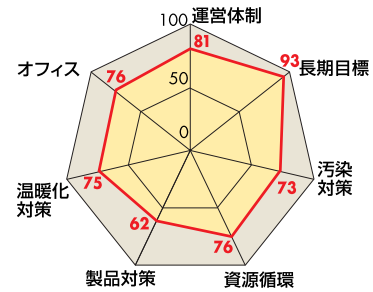
社会からの評価

コカ・コーラウエストグループの取り組みが、社会から高く評価されました。

環境経営度ランキング 食品部門で第7位

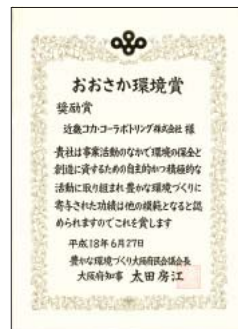
2006年度環境経営度調査は、経営統合後のコカ・コーラウエストグループの位置付けを表したものと認識しています。この現状に満足することなく、より高い環境経営を目指していきます。

項目別評価



近畿コカ・コーラボトリング おおさか環境賞奨励賞

温室効果ガス削減活動や天然ガス車の導入、地域での美化活動などが豊かな環境づくり大阪府民会議(会長/大阪府知事)により評価され、6月に奨励賞を受賞しました。



表彰状

三笠ロジスティク 優良自動車運送事業者表彰

優良自動車運送事業者表彰は国土交通省が、法令遵守、良質な運送サービス、安全、環境、福祉、地域活動などへ積極的に取り組んでいる企業を評価するものです。2006年に奈良県下で7社受賞したうちの1社となりました。



表彰状

獺犬から男児救出!

勇気ある行動に称賛

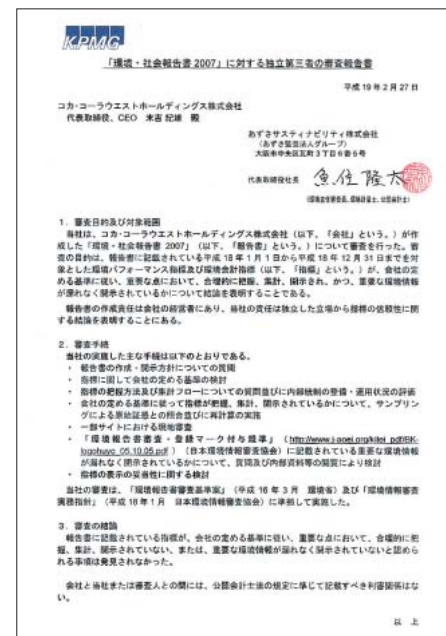
9月19日午前、京都府京丹波町の公園で小学1年生の男児が獺犬に襲われているところを、関西ロジスティクスのパートナー会社、ファーストリンク株式会社の羽賀

誠一さん(綾部物流センター)が救出。男児は両足などを噛まれ全治1カ月の重傷を負ったものの、命に別状はありませんでした。羽賀さんの行動がなければさらに悲惨な事故に発展していた可能性が高く、この善行は複数の新聞やテレビに取り上げられました。

子どもを救出した羽賀さん



独立第三者の審査報告書



「環境・社会報告書2007」はコカ・コーラウエストグループにとって、経営統合後初めての報告書となりました。グループ各社の指標の算定方法や集計範囲の違いが一部確認されましたので、次年度以降の統一化が望まれます。一方で、各社の取り組みの比較分析を通じ、それぞれの強みや他に類を見ない活動が明らかになりました。今後、それらの活動のさらなる水平展開が期待されます。

あずさサステナビリティ株式会社 マネージャー 牧 多恵

環境パフォーマンス指標算定基準・ 環境会計指標算定基準

1.環境パフォーマンス指標算定基準

| 環境パフォーマンス指標 | 単位 | 算定方法 |
|----------------------------|--|---|
| 投入 | | |
| 原材料投入量 | 千t | 生産活動に伴う原液・コーヒー・ミルク類の年間投入量 |
| 資材投入量 | 千t | 生産活動に伴う梱包資材の年間投入量 |
| 取水 | 千m ³ | 生産活動に伴う上水・井水・工業用水年間使用量 |
| 排出 | | |
| 温室効果ガス=CO ₂ 排出量 | 燃料 千t-CO ₂ 電力 千t-CO ₂ | 各燃料年間使用量×CO ₂ 排出係数(各燃料のCO ₂ 排出係数) A重油 2.710t-CO ₂ /kℓ ガソリン 2.322t-CO ₂ /kℓ 軽油 2.624t-CO ₂ /kℓ 都市ガス 2.108t-CO ₂ /千Nm ³ 年間購入電力量×CO ₂ 排出係数 CO ₂ 排出係数は、電気事業連合会発表の2005年度使用端CO ₂ 排出原単位0.425kg-CO ₂ /kWhを、2005年、2006年の計算に使用。 P15~17記載の温室効果ガス削減計画におけるCO ₂ 排出量実績は、CCWJエリア、近畿エリアそれぞれの温室効果ガス削減計画策定時において使用された、各種係数ならびに集計範囲を継続して使用。 |
| 廃棄物 | 千t | 生産活動に伴う廃棄物で、有価物含む |
| フレッシュネス管理などによる廃棄物 | 千t | フレッシュネス管理などによる市場からの製品回収に伴う廃棄物で、排水処理される量を含む |
| 空容器回収量・リサイクル量 | 千t | 空容器回収量は、実際の回収量から水分を除いた量 リサイクル量は、回収量から残渣を除いて再資源化された量 |

化学物質について、「特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律」にもとづく届出対象化学物質の取り扱いはありませんでした。

2.環境会計指標算定基準

| 環境会計指標 | 単位 | 算定方法 |
|---------------------------|--------------------|--|
| コスト | 百万円 | ●環境保全に貢献する設備の財務会計上の減価償却費 ●環境保全に貢献する設備の維持運営費 ●環境保全活動に関わる人件費 ●環境保全活動に関わる諸経費 複合コストについて原則的には差額集計とするが、差額が明瞭に判別できない場合は、按分集計、簡便集計を行う。 |
| 経済効果 | 百万円 | 環境保全活動に伴う収入額・節減額 |
| CO ₂ 削減効果(P18) | 千t-CO ₂ | 環境保全活動を実施しなかった場合と比較したCO ₂ 削減量であり、CCWJエリア、近畿エリアそれぞれの温室効果ガス削減計画策定時において使用された各種係数を継続して使用。 |

コカ・コーラウエストグループ 未来へ向けた取り組み

循環型社会の実現に向けさらに前進

廃棄自動販売機の自社処理化

コカ・コーラウエストグループでは、自らの事業活動で使用する全てのものを自社で再資源化することを理念に掲げています。これまでの空容器リサイクルに加え、西日本エリアで発生した廃棄自動販売機を自社処理する独自構想を、2007年から北九州エコタウンで実現します。



●ご意見・ご感想は、下記までお聞かせください。

コカ・コーラウエストホールディングス株式会社 CSR推進グループ
〒812-8650 福岡市東区箱崎七丁目9番66号 TEL 092-641-9118 FAX 092-641-9128
ホームページ <http://www.ccwh.co.jp/>

R100
古紙100%再生紙

PRINTED WITH SOY INK
Trademark of American Soybean Association